

## 株式会社東芝四日市工場の取組事例

# 聴覚障がい者向けの研修会等開催について

聴覚障がい者の職場関係者が、聴覚障がい者の置かれた状況や悩み・要望を深く理解し、有効なコミュニケーション方法を学ぶとともに、各職場での対応上の工夫や、互いがスムーズに働くための注意点を共有することで、聴覚障がい者の職場での一層の活用・活躍を図るきっかけ作りとなるため様々な研修会を実施中。

実施時期	取組み内容	詳細	参加対象者
2008年度	第1回手話講習会	聴覚障がい者が講師となり計4回開催。	・課長・グループ長 ・主務
2011年度	第2回手話講習会	(勤) 担当が講師となり計4回開催。 また、グループ毎に分け、学んだ手話を使って会話する等実践形式とした。	・課長・グループ長 ・聴覚障がい者のメンター者 ・庶務担当者
2013年度	聴覚障がい者とのコミュニケーション研修開催	「聞こえない」体験や、ありがちな職場のトラブル事例等を学ぶ。	・聴覚障がい者のメンター者
2016年度	要約筆記研修会開催	聴覚障がい者の置かれた状況や悩み・要望を深く理解し、有効なコミュニケーション方法の一つとして要約筆記を学ぶ。	・聴覚障がい者 ・聴覚障がい者のメンター者

## その他の取組み

アビリンピックへの積極的な参加	2009年度より毎年10名程参加。 業務に対するモチベーション向上を図る。
障がい者に対する理解向上	障がい者が作る水気耗栽培の野菜を使ったサラダバーを食堂で提供。
安全体感教育	感電、地絡・短絡、有機溶剤危険、酸欠等18種の体感教育を健常者に交じり教育を受講。事前に資料を配布し当日は、講師が簡単な手話を交えゆっくりと会話をすることで安全作業の理解を深めてもらっている。